



平成 26 年 12 月 16 日

各 位

会 社 名 ア ト ラ 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 久 世 博 之
(コード番号：6029 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 担 当 田 中 雅 樹
(TEL. 06-6533-7622)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 26 年 12 月 16 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては、別添のとおりであります。

【個 別】

(単位：百万円、%)

項 目	決算期	平成 26 年 12 月期 (予想)			平成 26 年 12 月期 第3四半期累計期間 (実績)		平成 25 年 12 月期 (実績)	
			構成比	対前期 増減率		構成比		構成比
売 上 高		1,457	100.0	+10.4	1,036	100.0	1,320	100.0
営 業 利 益		74	5.1	△48.1	47	4.5	144	10.9
経 常 利 益		62	4.3	△56.6	52	5.1	144	10.9
当 期 (四 半 期) 純 利 益		19	1.3	△86.8	23	2.2	145	11.0
1 株 当 たり 当 期 (四 半 期) 純 利 益		9 円 92 銭			12 円 26 銭		76 円 60 銭	
1 株 当 たり 配 当 金		0 円 00 銭			—		0 円 00 銭	

(注) 1 当社は連結財務諸表を作成しておりません。

2 平成 25 年 12 月期 (実績) 及び平成 26 年 12 月期第 3 四半期累計期間 (実績) の 1 株当たり当期 (四半期) 純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。平成 26 年 12 月期 (予想) の 1 株当たり当期純利益は公募株式数 (700,000 株) を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

3 平成 26 年 8 月 1 日付で、普通株式 1 株につき 1,000 株の株式分割を行っております。上記では、平成 25 年 12 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期 (四半期) 純利益を算出しております。

4 平成 26 年 12 月期は、平成 25 年 12 月期と比べ、増収・減益を見込んでおります。減益の主な要因は、利用者拡大に向けたほねつぎチェーン加盟院、HONEY-STYLE 利用院の広告ツール等の刷新を短期間・集中的に実施したことにより一時的な費用が発生したこと、及び今後のほねつぎチェーンの拡大等に向けた先行投資としての営業人員の増強と上場を見据えた管理部門の人員強化に伴い人件費が増加したこと、並びに上場関連費用等が発生したことによるものであります。

平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年12月16日

上場会社名 アトラ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6029 URL <http://www.artra-group.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久世 博之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 田中 雅樹 (TEL) 06(6533)7622
 四半期報告書提出予定日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1 平成26年12月期第3四半期の業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	1,036	—	47	—	52	—	23	—
25年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年12月期第3四半期	12.26		—					
25年12月期第3四半期	—		—					

- (注) 1 当社は平成25年12月期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成25年12月期第3四半期の数値及び平成26年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
- 2 当社は、平成26年8月1日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っておりますが、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、平成26年12月期第3四半期の1株当たり四半期純利益を算定しております。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、平成26年12月期第3四半期において当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	1,022	65	6.4
25年12月期	986	42	4.3

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 65百万円 25年12月期 42百万円

2 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	—	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3 平成26年12月期の業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,457	10.4	74	△48.1	62	△56.6	19	△86.8	9.92

- (注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
- 2 当社は、平成26年8月1日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っておりますが、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。
- 3 1株当たり当期純利益は、公募株式数(700,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期3Q	1,900,000株	25年12月期	1,900,000株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	－株	25年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期3Q	1,900,000株	25年12月期3Q	－株

- (注) 1 当社は、平成25年12月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、平成25年12月期第3四半期における期中平均株式数(四半期累計)を記載しておりません。
- 2 当社は、平成26年8月1日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っておりますが、上記は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については添付資料3ページ「1 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	経営成績に関する説明	2
(2)	財政状態に関する説明	3
(3)	業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2	サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1)	四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3	四半期財務諸表	5
(1)	四半期貸借対照表	5
(2)	四半期損益計算書	7
	第3四半期累計期間	7
(3)	四半期財務諸表に関する注記事項	8
	(継続企業の前提に関する注記)	8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
	(セグメント情報等)	8
	(重要な後発事象)	8

1 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による財政・金融政策を背景に、景気は緩やかな回復を見せたものの、消費税率の引き上げや、円安の影響を受けた物価上昇による個人消費の落ち込み懸念等、依然として先行き不透明な状態が続いております。

鍼灸接骨院業界におきましては、3月に療養費の算定基準について、柔道整復療養費検討専門委員会及びあん摩マッサージ指圧、はり・きゅう療養費検討専門委員会での議論が行われ、その改定が4月より実施されております。また、柔道整復師、はり師・きゅう師の国家試験があり、平成26年3月に公表された厚生労働省の報道発表資料によると、平成26年度はそれぞれ5,349人、3,892人、3,946人の合格者が生まれております。これにより、各有資格者間の市場競争は激しくなっており、当社にとっては鍼灸接骨院に対して療養費に依存しない院運営を提案する好機であると考えております。このような環境のもと、当社では、ほねつぎチェーン、HONEY-STYLE、アトラ請求サービスなどを積極的に営業展開してまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,036,030千円となりました。利益においてはほねつぎチェーンの立ち上げによる新規加盟売上と、HONEY-STYLE、アトラ請求サービスにおける売上が堅調に推移したことなどにより、営業利益47,071千円、経常利益52,586千円、四半期純利益23,296千円となりました。

当社は鍼灸接骨院支援事業の単一セグメントであるためセグメント別の記載はしていませんが、支援内容別の売上高の概要は以下のとおりであります。

・ほねつぎチェーン

ほねつぎチェーンは、展示会への出展や紹介を伴う代理店の拡大など新規顧客の開拓を積極的に推し進めた結果、当第3四半期会計期間末におけるほねつぎチェーン加盟院数が前事業年度末より12院増加し、41院となりました。

以上の結果、売上高は317,509千円となりました。

・HONEY-STYLE

鍼灸接骨院のロコミ／予約システムであるHONEY-STYLEにおきましては、当第3四半期会計期間末の利用院数が前事業年度末より68院増加し、394院となっております。これは、鍼灸接骨院へのIT導入支援を積極的に営業展開したことや、鍼灸接骨院業界で需要が高まっている療養費に依存しない自費施術の施術教材商品開発及び新商品の販売を積極的に展開したことによるものであります。

以上の結果、売上高は168,155千円となりました。

・アトラ請求サービス

新規契約先が順調に増加しており、当第3四半期会計期間末において会員数が前事業年度末より206会員増加し、1,255会員となりました。それに伴い、療養費請求代行処理件数も安定的に推移しております。

以上の結果、売上高は169,322千円となりました。

・機材・消耗品販売

機材については、有資格者の増加による新規開業や当社の積極的な営業活動の結果、各種機材の販売が堅調でありました。また、消耗品については、HONEY-STYLE利用院及びアトラ請求サービス会員が利用できるECサイトによる売上が堅調でありました。

以上の結果、売上高は188,373千円となりました。

・鍼灸接骨院経営コンサルティング

前事業年度に引き続き、柔道整復師、はり師・きゅう師、あん摩マッサージ指圧師等有資格者の院経営に対するコンサルティングやスタッフ教育などの指導を行っており、安定的な契約院数で推移いたしました。

以上の結果、売上高は112,769千円となりました。

・介護支援、その他

新規加盟店立ち上げによる加盟売上及び既存加盟店のロイヤリティ収入の安定確保に努めました。

以上の結果、売上高は79,899千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ36,219千円増加し、1,022,379千円となりました。

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べ58,731千円増加し、849,529千円となりました。これは主に、現金及び預金が25,682千円、売掛金が10,031千円及び商品が11,966千円増加したことによります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、前事業年度末に比べ22,512千円減少し、172,850千円となりました。これは主に、長期貸付金が21,372千円減少したことによります。

② 負債

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ13,060千円増加し、956,886千円となりました。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末に比べ3,502千円増加し、832,614千円となりました。これは主に、買掛金が43,113千円、1年内返済予定の長期借入金が34,666千円減少したものの、短期借入金が40,000千円、アトラ請求サービス会員の増加に伴い収納代行預り金が43,864千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、前事業年度末に比べ9,558千円増加し、124,271千円となりました。これは主に、長期借入金が8,616千円増加したことによります。

③ 純資産

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ23,158千円増加し、65,493千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加23,296千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期において、ほねつぎチェーンでは、事業説明会、展示会への出展、開発代理店の契約等により加盟院の増加を予定しております。

HONEY-STYLEは、自費施術メニューや健康関連商品、新商品での販売を伸ばし、WEB広告やセミナー活動により、契約利用院や会員の増加を予定しております。

アトラ請求サービスでは、療養費請求の事務負担の軽減を会員に提供する等、療養費請求代行のシェアの拡大を目指しております。

また、介護支援での店舗数の拡大と鍼灸接骨院コンサルティングの売上、機材・消耗品販売及びECサイト活用による販売の拡大を予定しております。

一方、利用者拡大に向けたほねつぎチェーン加盟院、HONEY-STYLE利用院の広告ツール等の刷新を短期間・集中的に実施したことにより一時的な費用が発生しております。また、今後のほねつぎチェーンの拡大等に向けた先行投資としての営業人員の増強と上場を見据えた管理部門の人員強化に伴う人件費等といった売上原価・販売費及び一般管理費の増加、並びに営業外費用として上場関連費用の発生を見込んでおります。

以上により、平成26年12月期の業績予想は、売上高1,457百万円（前年同期比10.4%増）、営業利益74百万円（前年同期比48.1%減）、経常利益62百万円（前年同期比56.6%減）、当期純利益19百万円（前年同期比86.8%減）を見込んでおります。

2 サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	612,121	637,803
売掛金	112,176	122,208
商品	5,055	17,021
仕掛品	1,106	7,931
貯蔵品	972	2,056
その他	59,640	62,571
貸倒引当金	△275	△63
流動資産合計	790,797	849,529
固定資産		
有形固定資産	92,421	89,352
無形固定資産	38,378	39,202
投資その他の資産		
その他	95,354	75,087
貸倒引当金	△30,792	△30,792
投資その他の資産合計	64,562	44,295
固定資産合計	195,362	172,850
資産合計	986,160	1,022,379
負債の部		
流動負債		
買掛金	96,987	53,873
短期借入金	-	40,000
1年内返済予定の長期借入金	67,330	32,664
未払法人税等	13,447	5,798
収納代行預り金	493,303	537,168
賞与引当金	1,910	7,520
ポイント引当金	2,330	4,706
その他	153,802	150,884
流動負債合計	829,111	832,614
固定負債		
長期借入金	77,832	86,448
退職給付引当金	5,748	4,612
資産除去債務	22,975	19,364
その他	8,157	13,846
固定負債合計	114,713	124,271
負債合計	943,825	956,886

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	76,315	76,315
利益剰余金	△84,118	△60,822
株主資本合計	42,196	65,493
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	138	-
評価・換算差額等合計	138	-
純資産合計	42,335	65,493
負債純資産合計	986,160	1,022,379

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	1,036,030
売上原価	630,646
売上総利益	405,384
販売費及び一般管理費	358,313
営業利益	47,071
営業外収益	
受取利息	1,368
受取配当金	21
受取家賃	3,000
受取手数料	3,028
解約料収入	6,630
その他	911
営業外収益合計	14,960
営業外費用	
支払利息	3,037
賃貸費用	1,713
上場関連費用	2,000
その他	2,693
営業外費用合計	9,444
経常利益	52,586
特別利益	
固定資産売却益	187
投資有価証券売却益	80
特別利益合計	267
特別損失	
固定資産売却損	11
固定資産除却損	998
減損損失	10,015
広告ツール改善費用	11,473
その他	1,371
特別損失合計	23,870
税引前四半期純利益	28,983
法人税、住民税及び事業税	12,768
法人税等調整額	△7,082
法人税等合計	5,686
四半期純利益	23,296

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は単一セグメントであるため記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。